

参議院特別委員会 国会無視の自衛隊独走、憲法 違反を追及—小池議員（共） 審議続行不能、散会、審議見通したらず

本日 13 時から一般質疑が行われていた参議院特別委員会は小池晃日本共産党参院議員の追及で紛糾、政府は答弁不能に陥り、審議続行が不可能になり、数人の質疑者の質問を残して散会しました。

統幕先行して軍事作戦次つき—戦前の軍部独走と同じ構図

小池議員は統合幕僚監部の資料『「日米防衛協力のための指針」(ガイドライン) 及び平和安全法制関連法案について』をもとに質問。

統合幕僚監部の資料では、「今後の進め方」とする「検討事項」を設け、「時程」を「8月に平和安全法制が成立し、その6カ月以内に施行が開始される」としています。「国際平和協力活動等担任部隊の準備訓練にその内容を反映させるとともに、法施行に伴い新法制に基づく運用ができるよう準備を進める」などともしています。文字通り戦争法案の成立を前提に、その運用について、すでに5月の時点で検討・想定する恐ろしさです。

違憲で危険な戦争法案の内容をそのまま運用、適用することを法案が上程されるかどうかという5月時点から準備しているだけでなく、国会審議＝国民の声をまったく無視したものです。

根拠もなく提案した与党と自衛隊統合幕僚監部の国民の声などを眼中にしないという暴走の実態は、単なる「先走り」ではありません。こうした憲法違反、国会無視は断じて許せません。

この大暴露、大事件によって、戦争法案は廃案するしかないことが改めて明らかとなりました。

「8・30 大行動」とそれにむけた 8 月の活動の大事さうきぼり

「戦争法案廃案！安倍政権退陣！8・30国会10万人、全国100万人大行動」を文字通り大成功させるとともに、毎週火曜日の全国一斉街頭宣伝行動、木曜連続国会行動など「8・30大行動」成功に向けた取り組み、草の根で準備されている集会や学習会、宣伝など多様な行動計画の一つひとつの取り組みを成功させることが決定的に重要となっています。

「こんな法案に協力するのか」—地元での議員への働きかけを強める時

国会議員はお盆で地元に戻ります。特に与党やこの法案に反対しない議員に対し、「こんな法案に賛成するのか」「こんなやり方をおかしいと思わないのか」と迫ることが大事となっています。「参議院議員連絡先一覧」も活用して、地元有権者から地元での働きかけを重視しましょう。